

## 1. 4月～8月に実施した事業内容について

※実施した事業の内容、参加者等について簡潔に記述下さい。

※9月の内容を記入される場合は、「3. 9月～翌年2月に実施した事業内容について」に記入ください。

4月
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 本事業開始に伴い、4月2日、当会の現地スタッフ（活動担当2名、会計担当1名）と日本事務局で、キックオフミーティングをオンラインで実施した。活動の目的、全体スケジュール、月次での会計管理方法などの周知と確認を実施した。</li><li>・ 担当業務ごとに個別の打合せを実施し、活動については、事業サマリーの日・英・現地語版を準備、会計については、現地会計簿を準備した。</li><li>・ 公式木材や植林材の調達先の情報収集と交渉を実施し、4月には、マレーカリンの公式木材を購入・運搬した。</li></ul>
5月
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 公式木材や植林材の調達先の情報収集と交渉を継続した。有力な情報が得られた際には、活動担当2名が訪問し、木材の状態を事前確認した。5月には、ユーカリの公式木材を購入・運搬した。</li><li>・ 4月に購入したマレーカリン材を用いて、木材乾燥試験と生産者への分配、生産試験を実施した。生産された木工品はアジアモダンクラフトに持ち込まれ、同社スタッフが品質確認を行なった。</li><li>・ 木材乾燥試験を実施するための木材乾燥設備の組立は、本事業開始後に着手する計画であったが、現地では社会経済的な混乱によって急激な資材高騰が続いていたため、本事業開始に先行して他資金により資材調達し製作する対応をとった。</li></ul>
6月
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 6月1日、木材乾燥設備にボイラーを追加接続することでスチーム乾燥に対応できるよう改良し、木材乾燥試験を継続した。初期には木材にカビが生える結果も見られたが、温度、湿度、処理時間等のパラメータを調整しながら試験を継続し、改善している。</li><li>・ 6月7日、当会、アジアモダンクラフト、地域の木工品生産者（以下、三者）の交流を促進できるよう、当会が実施する植林活動に参加を呼びかけたところ、アジアモダンクラフトから12名、地域の木工品生産者から32名の参加が得られた。共同作業を通じて参加者間の交流を深めたとともに、本事業で利用促進中のユーカリやアカシアなどを植林することで、当該樹種への関心を高める機会となった。</li><li>・ 6月13日、三者ミーティングを実施した。初回のため、生産活動の課題に関する情報交換や、木工技術に関する情報提供をしながら、お互いの理解を深める機会として設定した。ミーティングの中で木工品生産者らが、日本向けの新しい商品のデザイン開発をしたいとの意欲が挙げられたため、参加メンバーを対象に、試験的なデザインコンテストを共同活動の第一歩として実施した。</li></ul>
7月
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 公式木材や植林材の調達先の情報収集と交渉を継続的に実施した。7月には、マレーカリン、ユーカリの植林材を購入・運搬し、木材乾燥試験と生産者への分配、アジアモダンクラフトによる品質確認を実施した。</li></ul>
8月

- ・ 公式木材や植林材の調達先の情報収集と交渉を継続的に実施した。8月には、マレーカリンの植林材を購入・運搬し、木材乾燥試験と生産者への分配、アジアモダンクラフトによる品質確認を実施した。

## 2. 中間報告書提出時点での事業の振り返り

### 達成された成果

- ・ 当会による公式木材や植林材の調達が実施され、一部の生産工房で、それらの材を用いた木工品生産を開始することができた。木材乾燥試験は、スチーム乾燥という新たな方法を導入しながら開始することができた。
- ・ 本事業で計画していたミーティングと合わせて、植林活動やデザインコンテストなどの活動も機会として活用しながら、木工品生産者らとの協力関係づくりを開始することができた。
- ・ 事業後半も、事業計画時に設定した「期待される効果」の達成に向けて、活動を継続する。

### 現時点で明らかとなった課題

- ・ 事業国では2021年2月以降続く社会的な混乱によって、電力の不足、燃料の高騰、物流の混乱に資材不足などの困難が続いている。生産者の生産活動にも、通常時と異なる支援が必要になる場合もあるため、注意深く情報交換しながら、現地の生産者コミュニティに必要な支援方法を選択していく必要がある。
- ・ 政府当局による市民活動への取り締まりが厳しい中、集会の際は、極めて大人数での会合は控え複数回に分割する、事前に目的や内容を行政へ連絡するなど、十分な配慮を行いながら実施する必要がある。なお、別事業において2022年3月に集合型研修を実施した際は、上記の対応により問題なく活動を完了することができた。
- ・ 上記5月の実施内容欄に報告の通り、木材乾燥設備の組立を他資金により実施することとしたため、本事業の助成金活用額として乾燥機制作費資材費195,000円を計上していたが、同金額は事業後半に他費目へ活用したく、中間報告書提出後に相談したい。

4月の事業に関わる写真

5月の事業に関わる写真



製作した木材乾燥機



当会スタッフによるユーカリ林調査



マレーカリン、ユーカリの植林材の試験生産品



6月の事業に関わる写真



木材乾燥機へ接続されたボイラー



スチーム乾燥試験の様子



スチーム乾燥時の乾燥機内部の様子





植林活動の参加者たち



植林作業の様子



三者ミーティングの様子



三者ミーティングの様子



デザインコンテストの様子

7月の事業に関わる写真



ユーカリの植林材



ユーカリの植林材





伐採されたユーカリ



木材乾燥試験の様子

8月の事業に関わる写真



マレーカリンの植林材



伐採されたマレーカリン